

支出証拠書

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・ 佐野愛子)


経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	中部地区教職員学習会出席		
年月日	令和7年9月9日 ~ 令和 年 月 日	金額	700 円

目的	中部地区教職員学習会出席 (県庁から志太会館まで移動)
使途	ETC利用料
政務活動・ 県政との 関連性	教育現場の課題を質問に生かす

《領収書貼付枠》

ご利用ありがとうございます。

利用証明書


 **NEXCO**
中日本

NEXCO中日本お客さまセンター
0120-922-229
登録番号：T4180001056169.

料金所(自) 静岡
料金所(至) 大井川焼津藤枝
25年 9月 9日 16時33分

通行料金 ¥700-

(ETCカゲット) 車種 1
※通行料金の消費税率は10%です。

取扱番号
A14509-094026-439638 

※本利用証明書はETC利用照会サービスで印字されたものです。

案分の理由 全て政務活動にかかる ものである	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	700 円	100%	700 円


整理番号

10-2

支出証拠書

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・佐野愛子)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>事務費</u> ・事務所費・人件費		
内容	マウス購入		
年月日	令和7年9月23~令和 年 月 日	金額	784 円

目的	パソコン使用時に利用
使途	パソコン用マウス
政務活動・ 県政との 関連性	様々な文書の作成等でパソコンを使用時に利用する
<p>《領収書貼付枠》</p> <p>支払者：佐野愛子</p> <div style="text-align: center;">  <p>Nojima www.nojima.co.jp 事業登録番号：T4021001012568</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">領 収 書</div> </div> <p style="text-align: right;">様</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">¥1,569</p> <p>(内消費税等 ¥142) 内訳 BCR決済 ¥1,569</p> <p>但 _____</p> <p>2025年09月23日(火)</p> <p>株式会社ノジマ</p> <p style="text-align: right; margin-right: 50px;">商品代として マウス</p>	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
政務活動と後援会使用 で1/2ずつを案分	1,569 円	1/2	784 円
		%	

支出証拠書

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・ 佐野愛子)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	令和7年10月分 事務所賃借料及び送金手数料		
年月日	令和7年9月26日～令和 年 月 日	金額	50,220 円

目的	政務活動を行うための事務所の賃借料
使 途	令和7年10月分賃借料
政務活動・ 県政との 関連性	

《領収書貼付枠》

ご利用明細票

お取扱日	店 番	お取引内容
07-09-26	23003	通帳送金
記 号	番 号	

取扱番号	お取引金額	
	*100,000	
	残高	

清水銀行
藤枝駅西支店
普通 2215815
カ) マルシアオキ

送金料金 *440円
振込予定日 07-09-26
サノ アイコ

ご利用いただきましてありがとうございました。
 ــــــــ ゆ ー ち ゃ 銀 行 ــــــــ

案分の理由 政務活動、後援会活動 で使用のため	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	100,440 円	1/2 %	50,220 円

支出証拠書

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・ 佐野愛子)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報費・会議費・資料作成費・資料購入費(事務費)・事務所費・人件費		
内容	自動車リース料 (令和7年10月分)		
年月日	令和7年10月6日～令和 年 月 日	金額	6,840 円

目的	_____
使途	_____
政務活動・ 県政との 関連性	_____

《領収書貼付枠》

*月額リース料金 (32,655 円) から重量税、任意保険料等政務活動費対象外経費を除いた金額 (13,681 円に 1/2 を乗じた額) 6,840 円を充当する
 支払根拠は 令和7年4月整理番号 4-4 参照

2025年10月06日分

32,655円

出金 銀行振込

案分の理由 政務活動と私用で案分	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	13,681 円	1/2 %	



Adobe KK
Gate City Ohsaki East Tower,
1-11-2 Ohsaki, Shinagawa-Ku,
Tokyo 114-0032,
Japan
JCT ID:T7010701011841

オリジナル

請求情報

ご請求番号
発行日
支払い条件
注文書
ご注文番号
お客様
通貨

2025年10月 7日
クレジットカード
円

請求書送付先

佐野 愛子 様

請求書

品目詳細

サービス期間: 2025年10月 7日 bis 2025年11月 6日

製品番号	製品説明	数量	単位	単価	小計	税率	税	金額
30000068	Acrobat Pro	1	EA	1,800	1,800	10.00%	180	1,980

請求書の合計

小計(円) 1,800
消費税 10.00% 180
JCT

合計金額(円) 1,980

備考欄:

請求先連絡先

eCommerce - ASIA (Japan C Cards)

ご注文いただき、誠にありがとうございます!

ページ 1 / 1

支出証拠書

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・ 佐野愛子)

経費項目	調査研究費 研修費・広聴広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	「昔ばなしを聴くこと語ること」講演聴講		
年月日	令和7年10月13日～令和 年 月 日	金額	1,000 円

目的	静岡県子ども読書アドバイザー@ふじえだ主催 講師：相馬登美子氏講演「昔ばなしを聴くこと語ること」聴講
使途	駐車料
政務活動・ 県政との 関連性	読書活動推進について県政への提言に生かす
<p>《領収書貼付枠》</p> <div style="text-align: center;"> <p>B i V i 藤枝 054-270-4205</p> <p>令和 年 月 日 領収証 大和リース株式会社 登録番号T4-1200-0107-7476</p> <p>精算機 #05 A 精算No.000162 発券機 #01 発券No.036133 入庫時刻 2025年10月13日(月) 09:46 精算時刻 2025年10月13日(月) 15:46 駐車時間 6:00 駐車料金 A料金 1,000円 =====</p> <p>合 計 1,000円 (内税10%対象額 1,000円) 現金領収額 1,000円 お預り 1,000円 お釣り 0円 またのご利用をお待ちしております。</p> <p>上記合計金額は消費税10%対象です。</p> </div>	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかる ものである	1,000 円	/	
		100%	1,000 円

支出証拠書

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・佐野愛子)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費(事務所費)・人件費		
内容	事務所電気料(令和7年10月分)		
年月日	令和7年10月15日～令和 年 月 日	金額	6,803 円

目的	_____		
使途	_____		
政務活動・ 県政との 関連性	_____		
<<領収書貼付枠>> <div style="text-align: center;"> 7-10-15 (チュウブデンリョク) 電気 13,607 </div>			

案分の理由 政務活動、後援会活動で 使用のため	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	13,607 円	1/2 %	6,803 円

支出証拠書

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・佐野愛子)

経費項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請精進活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	内外情勢調査会 10月全国懇談会時交通費及び駐車料		
年月日	令和7年10月20日～令和	年月日	金額 13,728 円

目的	内外情勢調査会 10月全国懇談会出席 駐日大使ジョージ・グラス氏による講演聴講と冨田浩司氏との対談を聞き情報共有、参加者との意見交換をする		
使途	旅費及び駐車料		
政務活動・ 県政との 関連性	講演や対談で聴取した内容を県政や会派運営に生かす		
<<領収書貼付枠>> 交通費 JR藤枝～静岡 往復 420円×2 840円 静岡～品川(新幹線)～新橋(JR東海) 5,940円 新橋～赤坂見附(東京メトロ) 178円 東京～静岡 6,270円 駐車料 500円 合計 13,728円			

案分の理由 全て政務活動にかかる ものである	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	13,728 円	100%	13,728 円

領収書
RECEIPT

宛名
RECEIVED FROM

様

お預かり番号
RESERVATION NUMBER

金額計
TOTAL AMOUNT

¥5,940 (10%・税込)
(クレジットカード利用・Credit card use)

内容
DETAIL

乗車券類のご購入代金
TICKETS PRICE

購入日
DATE OF PURCHASE

2025年10月20日

乗車日
DATE OF DEPARTURE

2025年10月20日

取扱カード会社
CARD COMPANY

クレジットカード番号
CARD NUMBER

XXXXXXXXXXXXXXXXXX

列車名・券種
利用区間

自由席
静岡
FROM

品川
TO

東海旅客鉄道株式会社
Central Japan Railway Company
登録番号 T3180001031569



領収書
RECEIPT

宛名
RECEIVED FROM

様

お預かり番号 RESERVATION NUMBER	[REDACTED]		
金額計 TOTAL AMOUNT	¥6,270 (10%・税込) (クレジットカード利用・Credit card use)	内容 DETAIL	乗車券類のご購入代金 TICKETS PRICE
購入日 DATE OF PURCHASE	2025年10月20日	乗車日 DATE OF DEPARTURE	2025年10月20日
取扱カード会社 CARD COMPANY	[REDACTED]	クレジットカード番号 CARD NUMBER	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
列車名・券種 利用区間	ひかり521号 東京 FROM	静岡 TO	

東海旅客鉄道株式会社
Central Japan Railway Company
登録番号 T3180001031569



県外調査概要書

2025年10月 30日

会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・佐野愛子

目的	内外講演会全国懇談会
年月日	2025年10月20日
場所	ホテルニューオータニ
内容	<p>1 行程 自宅→藤枝駅 (JR) →静岡駅 (新幹線) 品川→赤坂見附→全国懇談会→東京 →藤枝→自宅</p> <p>2 対応者 講師 駐日米国大使 ジョージ・グラス氏 前駐米大使 ████████ 氏 笹川平和財団 ████████ 氏</p> <p>3 聴取内容 講演 駐日米国大使 ジョージ・グラス氏 「21世紀における日米同盟の構築」 中国による軍事パレードの状況にふれ、日米同盟の強化の必要性を指摘された。また、尖閣諸島を含む日本の防衛への米国のコミットを強調された。</p> <p>対談 グラス大使と前駐米大使 ████████ 氏 日米貿易協定の成果 農産物貿易の拡大を図った 多くの点でウインウインであった</p>

	<p>鼎談 グラス大使、 前大使、 </p> <p>今後の日米同盟強化の課題見通しについて トランプ政権の防衛政策への対峙</p> <p>4 県政への反映</p> <p>日本は気候変動への他国間協議で重要な役割を果たしていく立場である。静岡県においても、地球温暖化政策を国に訴え発信していくことを求める必要がある。</p> <p>一つひとつの県での成果の積み重ねが地球を変えていくという意思を持って当たらなければならない。</p> <p>また、防衛は国の責任ではあるものの基地を持つ県として、平和的解決の姿勢を崩してはならないことを訴えていく。</p>
--	--

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

支出証拠書

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・ 佐野愛子)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費(事務費)・事務所費・人件費		
内容	事務所電話通話料 (令和7年10月請求分)		
年月日	令和7年10月28日～令和	年月日	金額 3,111 円

目的	_____		
使 途	_____		
政務活動・ 県政との 関連性	_____		
<<領収書貼付枠>> *通帳記載欄に“ガス”と表示している理由及びひかり電話オプション利用料A (S) 利用理由 令和7年4月整理番号 4-14 参照 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 7-10-28 ガス 6,222 </div>			

案分の理由 政務活動と後援会活動 で使用のため	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b) 3,111 円
	6,222 円	1/2 %	

10月

月 日	内 容	行 程	走行距離(km)
2	島2小県庁見学意見交換	自宅ー県庁	57
4	藤枝大祭意見交換	自宅ー岡出山	16
6	県庁事務整理	自宅ー県庁	57
12	中里神社意見交換	自宅ー中里	10
13	子どもと本つなぐ会研修	自宅ー駅前ビビ	23
17	県庁質問ヒア	自宅ー県庁	57
18	朝比奈地区伝統文化意見交換	自宅ー殿	35
19	県防災訓練状況視察	自宅ー駿河台等	30
20	内外情勢調査会講演会	自宅ー藤枝駅	22
21	県副知事意見交換FM収録	自宅ー県庁、島田	87
22	志太の教育語る会初倉	自宅ー初倉	36
23	戦後80周年意見交換会、世界お茶まつり意見交換	自宅ー柚木、グランシップ	63
26	高洲地区意見交換	自宅ー高洲南小	32
27	内外情勢調査会講演会情報交換	自宅ーブクトーカイ	56
28	県道焼津森線要望活動	自宅ー県庁	57
29	高根神社大祭情報収集	自宅ー蔵田高根	43
30	教育部長意見交換、精神保健大会	自宅ー県庁、もくせい会館	60
	合 計		741

13,338

支出証拠書

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・ 佐野愛子)

経費項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費 (資料購入費)・事務費・事務所費・人件費		
内容	静岡・朝日新聞購読料		
年月日	令和7年10月1日～令和7年10月31日	金額	7,300円

目的	各方面における情報収集
使途	10月静岡、朝日新聞購読料
政務活動・ 県政との 関連性	政務活動において、広い分野の情報を得るための手段として活用する

《領収書貼付枠》

領収日 令和7年10月31日

2025年10月分 領収証 発証No. [Redacted]

佐野 愛子 様

本郷286

銘柄	部数	金額
静岡新聞※	1	3,300*
朝日新聞朝刊※	1	4,000*

合計金額 ¥7,300*

8%対象 7,300円
内消費税 540円

※は軽減税率対象 釣銭: 10000:2700 5000: 1000:

読書の秋!読んで楽しい本に出会
ましょう。

毎度ご購入有難うございます
上記金額正に領収致しました
年 月 日 領収
担当: [Redacted]

登録番号: T2080002017636

有限会社 新聞販売いしがき屋
静岡県藤枝市宮原534番地
TEL (054) 639-0126・0903

案分の理由 全て政務活動にかかる ものである	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	7,300円	100%	7,300円

支出証拠書

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・佐野愛子)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費 人件費		
内 容	事務員雇用 (令和7年10月分)		
年 月 日	令和7年10月1~令和7年10月31日	金 額	34,568 円


目 的	_____
使 途	_____
政務活動・ 県政との 関連性	_____

《領収書貼付枠》

給与支払明細書

令和7年10月分

氏名 

給 与	通勤手当	支給額合計	控 除 額			差引支給額
			所 得 税	雇 用 保 険 料	控 除 額 合 計	
30.5H ¥1,200/h	日数7日 ¥350/日					
円	円	円	円	円	円	円
36,600	2,450	39,050			0	39,050
					受領印	
					受領日	10月31日

ふじのくに県民クラブ 佐野愛子

案分の理由 後援会業務も含まれてい るため稼働時間で案分	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	39,050 円	27h/30.5h %	34,568 円

雇用実績表

10月分	氏名	
------	----	--

日	曜日	雇用時間数	うち政務活動業務時間数	政務活動業務内容
1	水			
2	木			
3	金	4	3.5	スケジュール確認、資料作成
4	土			
5	日			
6	月			
7	火	4	3.5	資料作成
8	水			
9	木			
10	金	5	4.5	資料作成
11	土			
12	日			
13	月			
14	火	4.5	4	資料作成
15	水			
16	木			
17	金	4	3.5	資料作成、資料整理ファイリング
18	土			
19	日			
20	月			
21	火	4.5	4	資料作成、来客対応
22	水			
23	木			
24	金	4.5	4	資料作成
25	土			
26	日			
27	月			
28	火			
29	水			
30	木			
31	金			
計		(A) 30.5	(B) 27	

上記のとおり雇用したことを証明する。

令和 7年 10月 31日

会派・議員名 ふじのくに県民クラブ・佐野愛子

[政務活動費充当計算]・・・①又は②の算式を用いて、政務活動費充当分を算出する。

①(B){ 時間 分}×単価[円]= 円

②総支給額[36,600 円]×27(B)÷30.5(A)= 32,400 円

支出証拠書

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・佐野愛子)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費 人件費		
内容	事務員雇用 (令和7年10月分)		
年月日	令和7年10月1日～令和7年10月31日	金額	72,450 円

目的	_____
使途	_____
政務活動・ 県政との 関連性	_____


《領収書貼付枠》

給与支払明細書

令和7年10月分

氏名 

給与	通勤手当	支給額合計	控除額			差引支給額
			所得税	雇用 保険料	控除額 合計	
56H ¥1,200/h 円	日数15日 ¥350/日 円	円	円	円	円	円
67,200	5,250	72,450			0	72,450

受領印 
受領日 10月31日

ふじのくに県民クラブ 佐野愛子

案分の理由 全て政務活動にかかるものである	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	72,450 円	100%	72,450 円

整理番号	10-16
------	-------

支出証拠書

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・佐野愛子)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費 人件費		
内容	事務員雇用 (令和7年10月分)		
年月日	令和7年10月1日~令和7年10月31日	金額	35,700 円

目的	_____
使途	_____
政務活動・ 県政との 関連性	_____


《領収書貼付枠》

給与支払明細書

令和7年10月分

氏名 

給与	通勤手当	支給額合計	控除額			差引支給額
			所得税	雇用 保険料	控除額 合計	
34H ¥1,050/h	日数 日 ¥ /日	円	円	円	円	円
35,700		35,700			0	35,700

受領印	
受領日	10月31日

ふじのくに県民クラブ 佐野愛子

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるものである	35,700 円	100%	35,700 円

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・ 佐野愛子)

経費項目	調査研究費・研修費・ <u>広報広報費</u> ・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	FMしまだコーナー料		
年 月 日	令和7年10月1日～令和7年10月31日	金 額	49,720 円

目 的	定期的に県政、地域情報を報告する
使 途	令和7年10月分コーナー料及び送金手数料
政務活動・ 県政との 関連性	政務活動を通じて得た様々な情報を広く伝えることができる

《領収書貼付枠》

ご利用明細票

お取扱日	店 番	お取引内容
07-11-14		通帳送金
記 号	番 号	

取扱番号	お取引金額	
	*49,500	
	残高	
島田掛川信用金庫		
島田本店営業部		
普通 916955		
カ) エフエムシマダ		
送金料金 *220円		
振込予定日 07-11-14		
サノ アイコ		

ご利用いただきましてありがとうございました。

— ゆ う ち よ 銀 行 —

案分の理由 全て政務活動にかかる ものである	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	49,720 円	100%	49,720 円

支出証拠書

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・佐野愛子)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	携帯電話料及びモバイル通信料 (令和7年10月請求分)		
年月日	令和7年9月1日～令和7年9月30日	金額	5,200 円

目的	_____
使途	_____
政務活動・ 県政との 関連性	_____
<p>《領収書貼付枠》</p> <p>除外するものは下記の通り</p> <p>① iPhone セキュリティパックプラス 600 円 (税別)</p> <p>② あんしん保証パック 1,164 円 (税別)</p> <p>除外額の計算</p> <p>(①600 円+②1,164 円)×1.1=1,940 円</p> <p>請求額 12,340 円－除外額 1,940 円＝対象額 10,400 円</p>	
2025年11月27日分	227,572円
	出金 〆〆〆〆

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
政務活動と私用で1/2ずつを案分	10,400 円	1/2	5,200 円
		%	

ご利用代金請求明細書

佐野 愛子 様

PayPayカード株式会社

本社:東京都新宿区四谷一丁目6番1号
コンタクトセンター:福岡市博多区博多駅前四丁目21番26号

ご請求金額	
ご利用カード	
お支払い日	2025/11/27
お支払い口座	
請求確定日	2025/11/20
お支払い方法	口座振替
ご請求金額	227,572円

※ お支払い日の前日までにお支払い口座へご入金ください。

※ 金融機関での手続きの進捗状況により、上記口座からお引き落としができない場合があります。

※ 請求金額の確定前にキャンセルされたり、お支払いいただくことにより、請求金額が0円となった方にも、ご利用内容をご確認いただくために表示しております。

回数指定払い										
利用日 / キャンセル日	利用店名・商品名	利用者 ※1	決済方法	支払い 区分※2	利用金額	手数料	支払総額	当月支払 金額	翌月以 降繰 越残 高	調整額
2025/9/30	ソフトバンクM	本人*	PayPay カード	1回	12,340円	0円	12,340円	12,340円	0円	0円

回数指定払い小計	227,572 円	0円	0円
----------	--------------	----	----

Summary of your charges
ご利用料金内訳明細書

請求先名 : 佐野 愛子 様

発行日 2025年 10月 11日
ソフトバンク株式会社 (ソフトバンク)
登録番号:T9010401052465

請求先番号: [REDACTED]
Billing number

請求月 : 2025年9月分(2025年9月1日~2025年9月30日ご利用分)
Month of Issue

電話番号 (お客さま番号等)	料 金 内 訳	内訳金額(円)	税区分
[REDACTED]	端末代 分割支払金/賦払金	2,175	対象外
[REDACTED]	計	2,175	
[REDACTED]	基本料 基本プラン (音声) [9月 1日~ 9月30日]	980	10%
[REDACTED]	通話料 基本プラン (音声)	9,960	10%
[REDACTED]	割引 家族割引 (260円 × 100%)	-260	10%
[REDACTED]	月額料 定額オプション+	1,800	10%
[REDACTED]	割引 60歳以上通話おトク割	-1,000	10%
[REDACTED]	無料 定額オプション+ 無料通話分	-9,700	10%
[REDACTED]	無料 定額オプション+ 無料通話分 (SMS)	-3	10%
[REDACTED]	定額料 データプラン2.0GB (スマホ)	2,580	10%
[REDACTED]	通信料 S!メール (MMS) @0円 24301Pkt	0	10%
[REDACTED]	通信料 データ通信 (4G・LTE/5G) @0円 27,239,492Pkt (通信量合計 27263793Pkt [3.26GB])	0	10%
[REDACTED]	通信料 メール (SMS)	3	10%
[REDACTED]	通信料 メール (SMS) (他社宛)	45	10%
[REDACTED]	月額料 ソフトバンクWi-Fiスポット (i)	467	10%
[REDACTED]	無料 ソフトバンクWi-Fiスポット (i) 無料特典 (467円 × 100%)	-467	10%
[REDACTED]	月額料 デザリングオプション	500	10%
[REDACTED]	月額料 iPhoneセキュリティバックプラス	600	10%
[REDACTED]	その他 ユニバーサルサービス料	3	10%
[REDACTED]	その他 電話リレーサービス料	1	10%
[REDACTED]	計	5,509	
[REDACTED]	除外 月額料 あんしん保証パック with AppleCare Service	1,164	10%
[REDACTED]	端末代 分割支払金/賦払金	2,825	対象外
[REDACTED]	計	3,989	
[REDACTED]	小計	11,673	
[REDACTED]	課税対象額 計	6,673	
[REDACTED]	課税対象10%	6,673	
[REDACTED]	消費税等 計	667	
[REDACTED]	消費税等10%	667	
[REDACTED]	課税対象外 計	5,000	
[REDACTED]	ご請求金額	12,340	

※ユニバーサルサービス・電話リレーサービスに関しては、(一社)電気通信事業者協会のHPをご参照ください。https://www.tca.or.jp/ (1/ 1頁)
 ※更新月等の各種ご契約内容についてはMy SoftBankの契約内容照会よりご確認ください。
 ※他社債権にかかる消費税率は購入元からの明細等をご確認ください。
 ※経過措置対象の取引は旧税率を適用しています。

支出証拠書

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・佐野愛子)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	第24回オーストラリア教育体験視察と交流		
年月日	令和7年8月16日～令和7年8月22日	金額	1,160,123 円

目的	別紙提出報告書の通り		
使途	渡航費用、国内交通費		
政務活動・ 県政との 関連性	オーストラリアの教育事情を本会議質問等の提言に活かす		
<p>在来線 JR 藤枝駅～静岡駅 往復 420円×2 840円 新幹線 JR 静岡駅～品川駅 往復 6,470円×2 12,940円 京浜急行 JR 品川駅～成田第二ターミナル 1,616円 // 羽田空港～JR 品川駅 327円 渡航費用 1,176,200円 渡航費用除外額(※) △31,800円 合計 1,160,123円</p> <p>※渡航費用除外額の計算 宿泊代 4泊 106,000円は1泊上限 21,500円×4日 86,000円を充当し 20,000円除外 食事代 昼夕各1回 11,800円は全額除外 除外額合計 31,800円</p>			

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかる ものである	1,160,123 円	100%	1,160,123 円



観光庁長官登録旅行業第2117号
JATA公認代理店 日本旅行業協会(JATA)正会員

遠州鉄道株式会社 旅行営業課

旅行代金内訳書

佐野 愛子 様

旅行日 : 2025年8月16日～2025年8月22日

方面 : オーストラリア (シドニー)

内容	数量	単価	金額 (円)	備考
国際航空券	1	787,000	787,000	ビジネスクラス
国内空港施設使用料	1	3,160	3,160	成田空港 *内税 10%
国際観光旅客税	1	1,000	1,000	
現地空港諸税	1	16,840	16,840	
宿泊代	1	106,000	106,000	4泊朝食付
食事代	1	11,800	11,800	昼1回/夕1回
専用車代	1	110,800	110,800	日本語ガイド随行費含む
通訳士代	1	81,000	81,000	教育協議会等
査証代 (オーストラリア)	1	2,200	2,200	E T A
添乗員費用	1	33,100	33,100	*内税 10%
企画料	1	23,300	23,300	*内税 10%
合計			1,176,200	*内税 10%表記以外は不課税

備考 : 静岡県教職員組合 / 第24回オーストラリア教育体験視察と交流の旅
参加9名様

遠州鉄道株式会社 旅行営業課

〒430-8655

静岡県浜松市中央区旭町12-1

遠鉄百貨店新館 事務所7F 12階

TEL 053-457-6470 FAX 053-457-6477

仕入グループ マネージャー



請求書

No. [REDACTED]

149933-25071251

発行日 2025年09月03日



遠州鉄道株式会社

旅行



佐野 愛子 様

中遠旅行営業所
〒438-0016 磐田市岩井2190-1

TEL 0538-31-5511 担当者 [REDACTED]
FAX 0538-31-5517 責任者 [REDACTED]
登録番号 T5080401000702

弊社をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
下記の通りご請求申し上げますので、お支払い下さいますようお願い致します。

合計金額 ￥1,176,200-

(消費税内訳) 明細別紙
10%対象 ￥3,160 (内税 ￥287)
対象外 ￥1,173,040

(お支払いは銀行振込にてお願いいたします)

《取引銀行》

静岡銀行 袋井支店 (普) 218052 《口座名》 遠州鉄道(株)

★御入金(お振り込み)は9月30日までにお願ひ申し上げます。

★お振り込みは請求書宛名にてお願ひ申し上げます。

★振込手数料は、貴社(貴方)ご負担にてお願ひ申し上げます。

領収書
RECEIPT

宛名
RECEIVED FROM

様

お預かり番号
RESERVATION NUMBER

金額計
TOTAL AMOUNT

¥6,670 (10%・税込)
(クレジットカード利用・Credit card use)

内容
DETAIL

乗車券類のご購入代金
TICKETS PRICE

購入日
DATE OF PURCHASE

2025年8月15日

乗車日
DATE OF DEPARTURE

2025年8月16日

取扱カード会社
CARD COMPANY

クレジットカード番号
CARD NUMBER

XXXXXXXXXXXXXXXXXX

列車名・券種
利用区間

ひかり508号
静岡
FROM

品川
TO

東海旅客鉄道株式会社
Central Japan Railway Company
登録番号 T3180001031569



領収書
RECEIPT

宛名
RECEIVED FROM

様

お預かり番号
RESERVATION NUMBER

[REDACTED]

金額計
TOTAL AMOUNT

¥6,470 (10%・税込)
(クレジットカード利用・Credit card use)

内容
DETAIL

乗車券類のご購入代金
TICKETS PRICE

購入日
DATE OF PURCHASE

2025年8月22日

乗車日
DATE OF DEPARTURE

2025年8月22日

取扱カード会社
CARD COMPANY

[REDACTED]

クレジットカード番号
CARD NUMBER

XXXXXXXXXXXXXXXXXX

列車名・券種
利用区間

ひかり501号
品川
FROM

静岡
TO

東海旅客鉄道株式会社
Central Japan Railway Company
登録番号 T3180001031569



県外調査概要書

2025年10月 30日

会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・佐野愛子

目的	オーストラリア教育体験視察参加
年月日	令和7年8月16日～令和7年8月22日
場所	オーストラリア メルボルン、シドニー
内容	<p>1 行程</p> <p>自宅→藤枝駅（JR）→静岡駅（新幹線）→品川→成田空港（京急）→メルボルン（カンタス航空）→シドニー→羽田空港（カンタス航空）→品川（京急）→静岡（新幹線）→藤枝→自宅</p> <p>2 対応者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Tokuro furuta(ふるたとくろう) メルボルン領事 ・ ジャステン・マリー-AEU 委員長 ・ AEU 役員 (██) ・ ビクトリア州教育庁長官等 <p>3 聴取内容</p> <p>添付の「オーストラリア教育体験視察報告書」参照 (P1～P12)</p> <p>4 県政への反映</p> <p>添付の「オーストラリア教育体験視察報告書」参照 (P13～P15)</p>

第 24 回オーストラリア教育体験視察と交流の旅

- 1 期 日 2025 年8月 16 日(土)～8月 22 日(金)
- 2 訪問国 オーストラリア(メルボルン他)
- 3 目 的 ・ オーストラリアの学校訪問やオーストラリア教育組合(AEU)教職員との教育交流を通して、子どもや教職員の実態を知ったり、教育システムや教育内容等を学んだりして見聞を広める。
・ 実際に見聞き体験したことを教育実践に生かしたり、単組・支部や学校現場、地域教育懇談会等で広く還流したりする。
- 4 内 容 ・ 教育視察 — 学校訪問、授業参観・体験
・ 国際交流 — 夕食交流会
・ 意見交換 — 教育交流会(両国共通の教育課題)

5 交流について

「オーストラリア教育体験視察と交流の旅」は、1996 年から始まり、今年で 24 回目を迎えます。これまでに延べ 627 人の組合員が各単組・支部から参加しています。当初の目的は、オーストラリアの学校における地域に応じた創造的なカリキュラムと学校協議会に象徴される教育の地方分権スタイルを学ぶことでした。参加者は日本とは異なる教育システムを直に見聞きすることによって、視野を広め、県内教育の発展に寄与してきました。教育活動の中に多文化理解やコミュニケーション能力の育成等が一層求められるとともに、外国語教育の早期化・教科化に伴う指導体制など、新たな教育課題が生じてきている現在、多文化・多国籍の子どもたちが集まるオーストラリアの学校教育について見聞きし、両国の課題について意見交流をすることで、自身が豊かな体験を得ることができます。その意味で、この交流の旅は参加する組合員にとって、日常的な研修では得ることのできない貴重な体験となり、そのことが、静岡のゆたかな学びを実現するための教育活動推進につながります。

2000 年度に県教研 50 周年を記念して AEU 教職員を静岡に招聘したことをきっかけに、AEU の方々が秋に訪れるようになりました。コロナ禍での中断後、2024 年度からは隔年で相互に訪問を行うこととしました。交流中における県教委への訪問・教育協議会・レセプションは、互いのとりくみや教育システム等について情報交換を行う貴重な場になっています。ホームステイや学校訪問は、ビクトリア支部教職員が日本の教育や生活にふれる貴重な体験の場となっているだけでなく、受け入れるホストファミリーや訪問校にとっても、国際理解・国際交流を深めたり、日本の教育を見つめ直したりするよい機会となっています。

オーストラリア教育体験視察 報告書

8月17日(日)

メルボルン市内視察 (9:30~15:30)

○ メルボルン博物館 自然や自然科学、歴史と文化をテーマにしている。これまでのビクトリア博物館を4倍のスペースに拡大してオープンした、現代的な建物であり近代的な印象を受ける。8つの展示館がある。特に力を入れているのは、原住民であるアボリジニに対する理解である。アボリジニの観点から歴史を紹介しようとしている。

また、子どものために設計されたチルドレンミュージアムもにぎわっていた。

○ 王立博覧会ビル 1880年に開催された国際博覧会のために建設された展示館であり、その後オーストラリア初の世界文化遺産に登録された。天井や入り口には大変見事な装飾が施され、ロマネスクやルネッサンスなどが複合された当時をそのままに残す展示館となっている。当時のオーストラリアが持っていた国力、財力の大きさをはかり知ることができた。

○ フィッツロイ庭園

メルボルンの中央にある代表的な庭園。

オーストラリア大陸を発見した貢献者であるキャプテン・クックの家も園内にある。大航海時代の歴史を知り、18世紀ごろのクックが誕生したイギリス北部の当時の住居の様子を観察することができた。

8月18日(月)

メルボルン 学校訪問・研修

○ 小学校 (North Melbourne Primary School) 8:30~12:30

日本の小学校にあたるプライマリースクールである。プレスクールを含めて準1年から6年生までが2か所の校舎で学んでいる。新校舎は学年ごとのフロアでカラーが決まっている。壁やドア、廊下など楽しい掲示や装飾が工夫され、登校することが楽しくなる雰囲気づくりに力を入れている。グループ学習、体験学習が多い。支援員や複数の教員での指導が多い。

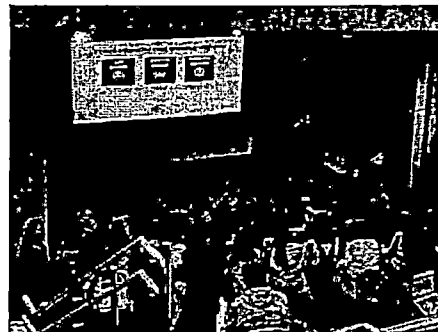
また、多数の民族の子どもたちが集まっており言語や肌の色が違うことが当たり前になっている。また、難聴児対応に手話通訳が常駐していることや危機管理対応の職員など多くの人材に支えられていることも印象的だった。一人ひとりの個性が大切にされ日本のような一律の強制は存在しないように感じた。

また、入学前のプレ学年があることにより1年生からスムーズに学習に導入できる。

日本の幼稚園とは違う役割を果たしており、素晴らしい制度である。



校内図書館



学年の防災学習

→ 手話通訳者が
ついている

○ 中学校 (Buckley Park College) 13:00~16:00

日本の中学校と高校が一体化した中高等学校。6年間学ぶセカンダリースクールである。高校入試がないことはメリットだと感じた。校長は地域から選出された管理職であり転勤はなく管理者としてのマネジメント能力が求められる。

生徒会活動が盛んであり、生徒会役員は特別の制服を着用し校内自治を推進する役割を果たしている。地域・保護者・生徒の声を聴きながらの学校運営が必須であり、地域運営協議会が方針をつかんでいる。学校裁量の力が強い。

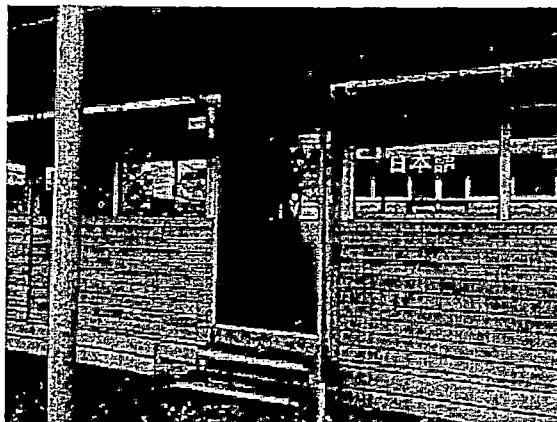
学習は、外国語を2か国選択するが、ドイツ語フランス語と並んで、日本語を選択する生徒が6割以上いることに驚いた。日本語教師も数人がどこの学校にもいて日本人も活躍している。校内から私たちを見ると「こんにちは」「ありがとう」などの日本語で話しかけられることが意外であった。

高校レベルになると進路に向けて、技術や美術など専門コースになる。制作実技の授業が多かった。また、今後理系のスーパーサイエンス校をめざして新しい校舎の建築も予定されている。

それぞれの生徒が目的をもって学習活動に取り組んでおり、それに見合った施設も充実している。



生徒会役員



日本語選択教室

8月19日(火) ビクトリア州教育意見交換

○ AEU ビクトリア支部訪問、教育協議会意見交換会

・施設について

ビクトリア支部の建物は4階建てであり、会議室やホール、また多くの職員が働くオフィスがある。オフィスは一人ひとりのブースに分かれており日本のようにワンフロアに全員が仕事をしているという風景ではない。教育研修指導や教員の指導など様々な役割を持った職員が仕事をしている。

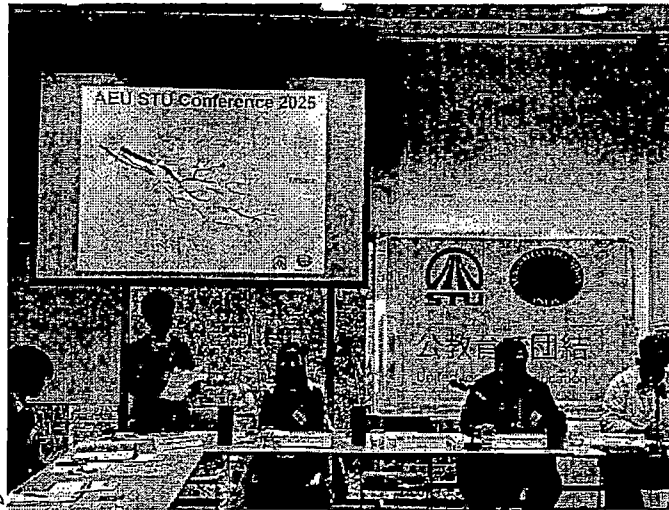
またビュッフェレストランや休憩スペース、バルコニーなどゆったりと働きやすい職場であった。

・教育協議会 意見交換会

全体会にはメルボルン総領事も出席され、静岡県とビクトリア州との友好を確認した。

静岡県の教育とビクトリア州の教育課題についてお互いの委員長からの報告、概況を確認した。

自分は静岡県議会議員として英語でのスピーチを行った。



協議会でのスピーチ

・分科会での話し合い

「教員の多忙化、不足」について

日本、静岡とオーストラリアと共通の課題を話し合った。教員に課せられる役割について対応の複雑さや困難さ等が出された。先進的に進めた IT はなくてはならないアイテムとなっている。

「不登校について」

不登校の原因はオーストラリアにおいても特定できない。家庭の価値観は多様化してい



ることも日本と共通している。

課題の話し合い

・ビクトリア州教育庁表敬訪問

教育庁事務次官 3 人と意見交換を行った。

ビクトリア州は人口が増え児童生徒数も増加している。義務教育の校舎も建設しなければならぬ。また多文化対応に力を入れている。教育庁として公教育の存続は課題である。不登校、教員不足など財政的獲得が庁としても課題である。地域間格差も解消しなければならぬ

持続可能な教育の構築をお互いに誓い合った。



ビクトリア州教育庁の庁舎
重厚な建物である。

8月20日(水)

ビクトリア州立図書館視察

「世界で最も美しい」といわれている図書館である。静岡県では県立新図書館の建設を巡り論戦が交わされている最中であり、視察の必要性を強く感じていた。

メルボルンの市外に中心に位置しており、交通の便がいいことはもちろん、ショッピング街のメイン通りにあり賑わいの中心となっている。

1854年に開館した、歴史あるオーストラリアで最初の無料公共図書館である。

建物に入ると、大きく開かれた美しい空間、「ラ・トローブ・リーディングルーム」が開けている。八角形の大きな部屋と天井はドーム型のデザインで放射状に並ぶ机など素晴らしいバランスで圧倒される。単なる図書館というより荘厳な神殿のようであり伝統文化の形を見ているようである。

そこにいる人たちは読書をしているというよりも、休憩したりパソコンを開いている人が多い。街を歩いて立ち寄って静かな空間を楽しんでいるようである。

広い建物内では様々な企画展が開催されている。書籍に関する展示では世界中の貴重な書物が集められ中には日本の江戸時代の浮世絵や版画なども並べられていた。

ほかにも芸術家の個展が広いギャラリーで開催されていたり、カフェ併設で飲み物をとりながら本を開くスペースなど、建物全体が一つの街のように広がっている。

運営は専任の学芸員や司書が担当している。受付や案内はボランティアが活躍し入り

口で来館者に声をかけている。



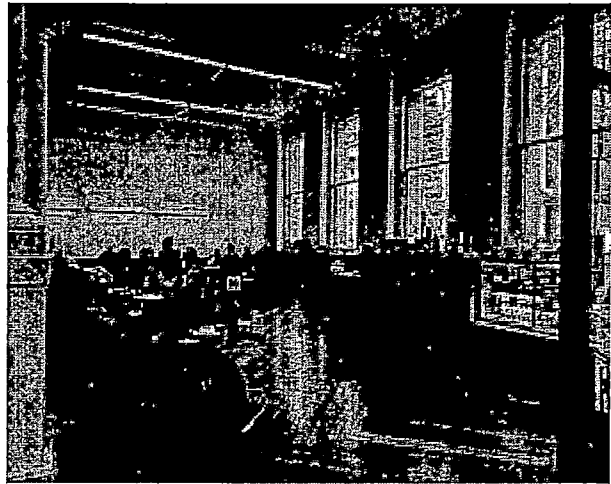
図書館職員



図書館ボランティア
来訪者に積極的に
声をかけて案内する。



図書館内部



図書館
カフェスペース

メルボルンの市内交通網 トラム

メルボルンの交通機関は、トラム、電車、バスがあるがどれもメルボルン都市交通局
メットで運営されている。共通チケットのメットカードでどれにも乗ることができる。

中でもトラムは路面電車で、碁盤の目のような市内を走りどこからでも気軽にのって
移動ができる。中でもシティーサークル・トラムは、市内の中心地を無料で運行してい
る。歩くように手軽に移動できる手段として根付いている。

市内はもちろん自動車も走っているが、トラムなどの公共交通が充実していることで

渋滞も緩和でき環境にも優しい街が構築されているといえる。



トラムの車内
無料の市内運行車両

8月21日(金) シドニー市内視察

ハーバーブリッジ

この巨大な橋は、1920～30年代の不況対策の公共事業として建設されたものだという。1923年に両岸の基礎固めから始まり南北にそびえたつ支柱のパイロンが造られ、1932年にアーチが完成。橋の下を大型の船が通ることを考慮して橋げたの高さを海面から52Mに設定している。アーチの一番高い部分は海面から134Mである。9年、2000万ドルをかけて1932年に完成した。全長は1149Mで世界で2番目、全幅は49Mで世界一である。8車線の車道と2路線の鉄道、自転車道と歩行者道が両側に設けられている。1980年代には1時間当たりの交通量が1万5000台を

超えラッシュ時の渋滞が深刻になった。その打開策として海底に全長2280Mのシドニーハーバートンネルが開通した。



巨大な支柱
車中は50mもある。



街のシンボル橋と
なっている

シドニー・オペラハウス

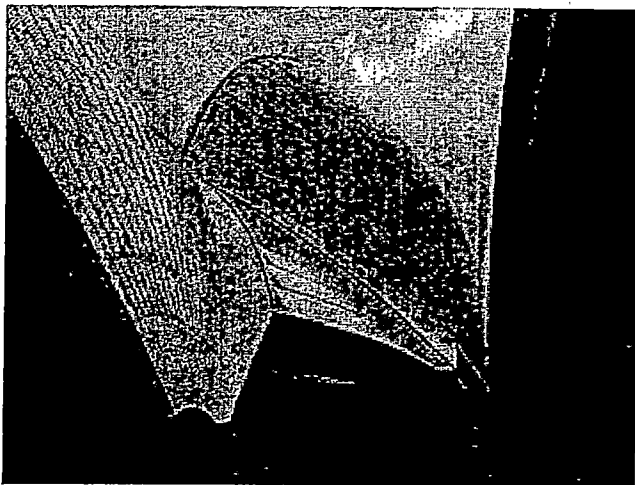
シドニーを、オーストラリアを代表する建築物と言っても過言ではない。4つの劇場、レセプションホール、レストラン、バー、図書館、アートギャラリーなどが入った巨大

な芸術総合施設である。防音効果や音響効果ともに最高の技術を駆使している。

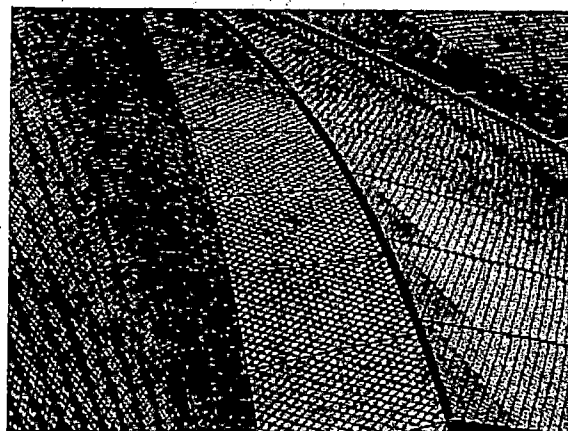
1956年にコンペでデンマークの若き建築家、ヨーン・ウッツオンが手掛けた。工事は難航し着工から14年、1億200万ドルという莫大な費用をかけて1973年に完成した。

外壁をよく見ると、クリーム色のタイルが一枚一枚張り付けられている。天候によって光が変わり見え方も変化してくる。

芸術の発信地としてももちろん機能しているが、観光客が必ず訪れるシンボリックな場所として今後も機能していくことであろう。



一枚一枚タイルが貼られている



県政への反映

○ オーストラリアとの交流について

日本から飛行機で南下し10時間程度はかかり近いとはいえないが、時差がないことは大変なメリットである。同時の活動ができる。

また、日本と季節が逆であることは不便でもあるが新鮮もある。広大な国土、豊富な資源や自然など日本にない魅力があふれている。

安全な環境と国民性から早くから日本の留学先や友好都市として選定されることが多い。英語圏であるので語学留学先としても適している。今後も人気の留学先や渡航先としての有効が深まると思われる。

さらにオーストラリアは先住民であるアボリジニとの共存も課題である。多くの人種が移民し多国籍民が生活している。お互いの文化を尊重し理解しあう多文化共生が実現している国であるといえる。これらは静岡県として大いに学び指針としていくべく点である。

○ 教育について

日本より先進的な取り組みが多く参考にするための交流を続けてきた。

少人数学級はもちろんのこと、特に学んだのは学校協議会の在り方である。オーストラリアでは地域のメンバーが学校を支え運営権まで持つ。これまで日本は地域の小中学校でありながら教育委員会と学校の中で進めていた。新しい方向として地域コミュニティー

が注目され学校運営委員が選出され地域の声を聴くことが重点化されたため、オーストラリアの先進事例から学ぶことが多かった。

しかし、今年の協議会を通して感じたのは、教育予算の確保、教員不足、働き方の見直し、保護者の理解、不登校など日本が抱えている課題と全く同じであることに驚いた。共通課題として今後も共に追及していきたい。

ほかには、校舎そのものの作りの違いやひとりひとりの個性を大事にしていることなどまだまだ日本は追いついていないし参考にしたい点多々ある。

さらに、国全体がそうであるように学校に通う児童生徒も多国籍である。言語も肌の色も違うこともたちが教室内で学んでいる。教師も子どもたちも違いを受け止めながら生活している。日本の教育も今後を見据えて多文化を受け入れる理念等を取り入れていくべきである。

○ 公共図書館の在り方

現在建築の計画が停止してしまった静岡県立図書館であるが、ビクトリア州立図書館も同じ公立図書館である。その価値の偉大さには敬服した。ここまで市民に根付き生活、観光の中心となっている公共物は他に類を見ない。

図書館不要論もささやかれる中、図書館は知の宝庫住民のよりどころになっていることが実証されている。経済性を図書館に問うことは難しいが県民の豊かさ、ウェルビーイングのためには図書館が必要であると声を上げて言いたい。

できれば県の図書館建築の関係する方々にこのビクトリア州立図書館を視察して
ただきたいものである。